

平成 27 年 3 月 25 日

各 位

株式会社北洋銀行
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

「北洋農業応援ファンド」の第 1 号出資先が決定しました ～「有限会社十勝しんむら牧場」に約 5 百万円を出資～

株式会社北洋銀行及び株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、株式会社日本政策金融公庫と共同で組成した「北洋農業応援ファンド（北洋農業応援ファンド投資事業有限責任組合）」から、第 1 号となる出資案件として、「有限会社十勝しんむら牧場」（所在地：北海道河東郡上士幌町）に約 5 百万円の出資を行うことを決定しました。

民間金融機関等と株式会社日本政策金融公庫による農業法人向けの投資事業有限責任組合は、道内では当組合のみであり、今回が当組合初の出資決定案件となります。

北洋銀行は、これまで関係機関と連携した経営支援、ビジネスマッチング等のソリューション提供、6 次産業化支援等、農林漁業者様をはじめとする食品関連事業者様をサポートしてきました。

今後も、引き続き出資等による資金供与も含め、農業生産者様の多様なニーズに対する支援を更に強化し取り組んで参ります。

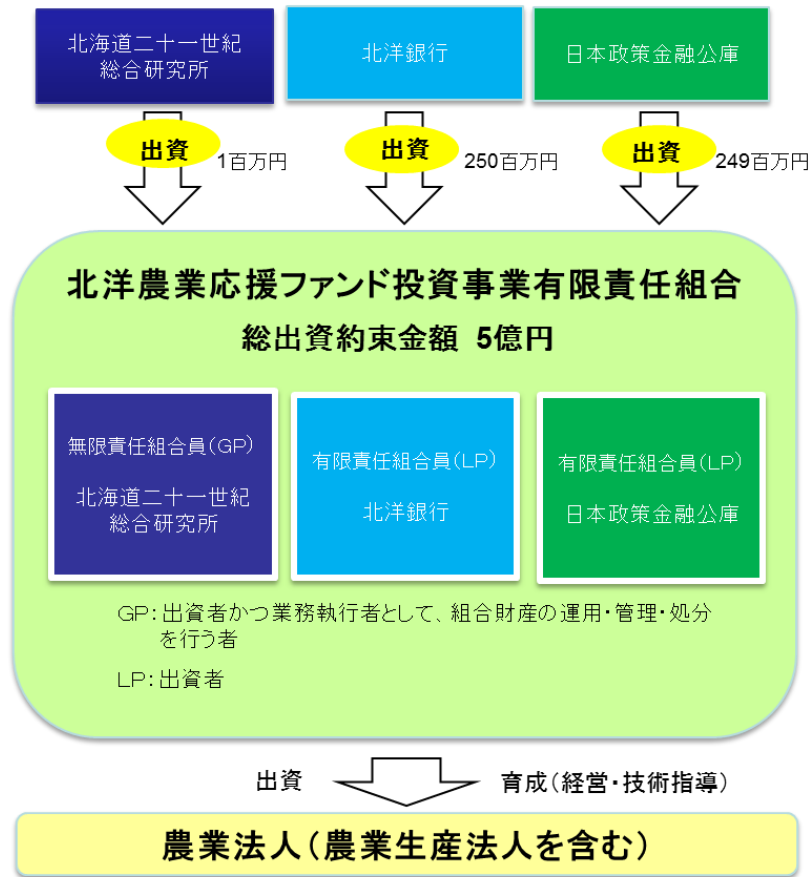
【出資案件概要】

出 資 先 名	有限会社 十勝しんむら牧場 （代表取締役 新村浩隆）
所 在 地	北海道河東郡上士幌町字上音更西 1 線 261 番地
出 資 決 定 額	4,970,580 円 （注）
出 資 形 態	無議決権株式引受
資 金 使 途	養豚事業設備資金
事 業 内 容	○酪農及び乳製品製造・販売、カフェレストラン、直売店の運営 ・「土作り」「牧草作り」に拘った放牧酪農を特徴とする ・自社の生乳を使用した乳製品製造販売 （特に「ミルクジャム」「クロテッドクリーム」は道が認定する「北のハイグレード食品+2015」に選定） ・牧場併設のカフェレストラン、帯広駅エスタ直売店舗の運営 ○新たに放牧養豚事業を展開（平成 27 年 6 月～） ・当社の持つ放牧のノウハウと豊かな土壌を活用した放牧養豚
出 資 理 由	・放牧酪農に特徴があり、販路拡大や加工品開発にも積極的に取り組む企業であること ・放牧酪農のノウハウを新たに展開する養豚事業に活用し、「放牧豚」として今後ブランド化が期待できること

（注）出資決定額は当社の株価算定による

<ご参考>

■ 「北洋農業応援ファンド」事業スキーム図



■ 「北洋農業応援ファンド」概要

項目	内容
ファンド名称	北洋農業応援ファンド投資事業有限責任組合
ファンド存続期限	平成40年12月31日
無限責任組合員	株式会社北海道二十一世紀総合研究所
有限責任組合員	北洋銀行、株式会社日本政策金融公庫
総出資約束金額	5億円 株式会社北海道二十一世紀総合研究所 100万円 北洋銀行 250万円 株式会社日本政策金融公庫 249万円
出資対象事業者	北海道内の農業法人(農業生産法人を含む)等

以上